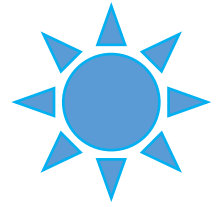


ありがとうございます



二戸市ふるさと納税の活用内容

令和3年度 皆さまからお寄せいただいた寄附金は、次のとおり4年度事業として活用させていただきます。

子どもの教育のために ・・ 1,696 名様より 42,822,000 円

1. 図書に親しむまち推進事業

- ① ブックスタート(10ヶ月健診時に絵本を配布し、絵本を通して親子のふれあいのきっかけを作る)
- ② おはなしデビュー(3歳児健診の際に絵本を配布し、幼児期から本に親しみ読書の習慣へと繋げる)
- ③ 学校図書館支援員の巡回訪問(市内の小中学校を訪問し、学校図書館の環境整備等を支援する)
- ④ 図書の贈呈事業(市内の児童生徒全員に希望する図書を贈呈し、読書意欲の向上と家庭での読書習慣の定着を図る)

2. 学力向上推進事業

児童生徒の確かな学力の定着と、それを支える教職員の授業力向上の取り組みのために使われます

3. 槻蔭舎きぼう塾事業

青少年が大きな志を持って自己実現と社会貢献を目指し成長できるよう、小学生や中学生とその親を対象に行う体験学習や郷土学習などに使われます

4. 異文化交流推進事業

中高生の海外派遣や、英語教育アドバイザーによる、教職員の授業力向上を図るために使われます

5. ふるさと探訪塾事業

市内の小学校5・6年生を対象に、郷土への理解を深め、愛着心や誇りを育むとともに、次代の地域を担う人材育成のために使われます

6. 高校魅力化推進事業

地域の学びの選択肢や、多様な分野の学びを維持するため、学校の魅力発信や生徒の通学費補助など、市内高等学校の生徒確保に対する支援に使われます

福祉のために ・····· 764 名様より 20,091,000 円

1. 健康づくり事業

乳幼児から高齢者まで幅広い世代を対象に「健康なからだ」「豊かな心」「活力ある地域」を育むために行う、食育推進などの事業に使われます

2. 子育て支援事業

保護者の相談に寄り添い、未来を担う子どもたちが健やかに成長できるように行う支援事業に使われます

3. 高齢者支援等事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らすことを支援するために行う、外出支援や権利擁護支援、地域医療介護連携事業などに使われます

日本一の漆のまちの振興のために

… 572 名様より 19,062,000 円

二戸市は国産漆の約 7 割を生産しており、国内最大の産地です。生産された漆は、鹿苑寺金閣（京都）や日光東照宮（栃木）などの国宝・重要文化財建造物の保存修理などに使用されています。

一方で、近年、漆産業関連の後継者やウルシ原木の減少など課題に直面しており、日本の伝統文化を支える二戸の宝である漆を次世代へつなげるため、次の事業などに使われます。

主な事業

1. 掻き師・塗師等の後継者育成
漆掻き・漆塗りなど、漆関連産業の後継者育成のために使われます
2. ウルシ原木確保対策
荒廃した漆林の整備、将来に向けた漆林の創生など、原木資源を確保するために使われます
3. 浄法寺塗・浄法寺漆器の情報発信
浄法寺漆総合ホームページの改修等、漆や漆器に関する情報発信のために使われます

九戸城跡整備振興のために・ 196 名様より 4,133,000 円

九戸城跡は、約 430 年前の天正十九年に、豊臣秀吉の天下統一最後の合戦があった城郭です。後に南部信直の居城となった城郭には、北東北最古といわれる石垣が残り、二戸市の歴史を語る貴重な史跡です。

この九戸城跡を保護し、活用していくため、次の事業などに使われます。

主な事業

1. 史跡の保護
将来にわたって、史跡九戸城跡を適切に保護するために使われます
2. 史跡九戸城跡環境整備
平成 30 年から進めている本丸・二の丸地区の第 2 期整備を推進するために使われます
3. 九戸城跡情報発信
九戸城跡の歴史、文化財に関する情報発信のために使われます
4. 史跡施設等維持管理
良好な景観を保つため、史跡の維持管理や、来訪者の利便性を確保するため、ガイドハウスの運営に使われます

まちづくりのために … 1,859 名様より 52,156,000 円

1. 移住・定住推進事業
若い世代の移住・定住の推進や、空き家バンクの運営に使われます
2. まちづくり推進事業
まち歩きマップの作成や宝の由来を紹介する説明板の修復など、地域の宝を生かしたまちづくりに使われます
3. 公共交通運営事業
コミュニティバスの運行や、路線バス事業者の支援のために使われます

市長におまかせ

寄附金は『まちづくりのために』と同様の事業に活用されます

温かいご支援、誠にありがとうございました

